



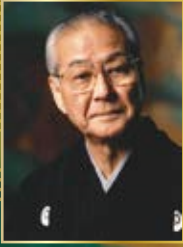
大蔵 彌右衛門



大蔵 彌太郎



野村 万蔵



野村 萬 人間国宝

和泉流

福の神

和泉流

◎ふくのかみ



野村 萬 人間国宝

和泉流

◎におう

野村 万蔵

仁王

新春 狂言の会

加賀万歳と

異流競演

〈和泉流〉〈大蔵流〉が
石川の地にて競演！

平成29年

1月29日(日)

13時開演
(12時開場)

大蔵流

◎荒巻薫里

伯母ヶ酒

大蔵流

◎おばがさけ

大蔵 彌太郎
大蔵 彌右衛門



平成28年度文化庁
文化芸術振興費補助金
対象事業

加賀万歳

平成金沢新名所づくし
北陸新幹線

加賀万歳保存会

解説

野村 万歳(和泉流)
大藏彌太郎(大藏流)

和泉流

福の神

福の神 野村 萬

参詣人 野村万之丞
虎ノ介改メ
炭 光太郎

大藏流

伯母ヶ酒

男 大藏彌太郎
伯母 大藏彌右衛門

和泉流

仁王

博奕打 野村 万歳

何某 炭 哲男
参詣人 中尾 史生
荒井 亮吉
山田 譲二
若生 敏郎
清水 宗治
鍋島 憲
炭 光太郎
能村 祐丞

※都合により配役が変更になる場合があります。

解説について

狂言の二流派、大藏流と和泉流より、大藏彌右衛門家と野村万歳家の競演をお楽しみください。同じ狂言でも台本や演出など流派によつて、また家ごとにも特徴があり、そうした違いや演目の見どころなどを野村万歳と大藏彌太郎がわかりやすくお話しします。また、加賀藩前田利家の金沢入城の頃より金沢の地で発展し、能楽の影響も受けたとされる加賀万歳を合わせてお楽しみください。

あらすじ

福の神

● ぶくのかみ

出雲大社で年籠り(大晦日の参籠)をするため二人の参詣人が連れだつて出かけます。出雲大社に着き神前で拝をした後、福の神の祀られる前で豆をまいて、大きな笑いととも福の神が現れます。何のために参詣するのか聞かれた二人は、富貴になりたいと答えると、その秘訣を福の神が語ります。人間国宝・野村萬の至芸をご堪能ください。

伯母ヶ酒

● おぼがさけ

酒を造つて商売をする伯母の家に、ただで酒を飲ませてもらおうと甥が訪ねますが、伯母はけちで酒を振る舞ってくれません。甥はある一計を案じ、この辺りに恐ろしい鬼が出るそうなので用心するようにと言いつき、いったんは伯母の家を離れますが……。大藏流宗家、大藏彌右衛門、彌太郎親子の円熟した芸をお楽しみください。

仁王

● におう

ある男は博奕に負けて出奔しようとしていますが、知人から仁王に成りすましてひと稼ぎするよう勧められます。言うとおりの仁王の姿になって待つて、大勢の参詣人たちがやってきて多くの供物が手に入りました。二人は喜び、さらにもう一度男が仁王になっていると……。野村万歳と地元北陸の狂言師たちによる賑やかな大勢物です。

出演者紹介

加賀万歳保存会



新年の祝福に満ちた加賀万歳は、金沢のお正月に欠かせない風物詩。元日に、真っ赤な大黒頭巾や独特の衣装を身にまとい、家々の年賀に向かう。昭和五十年には金沢市指定無形民俗文化財の指定を受け、加賀万歳保存会が中心となつてその保存・継承に当たっている。

野村 萬

◆のむら まんぞう



六世万歳の長男。狂言の第一人者として平成九年重要無形文化財個人指定(人間国宝)を受ける。日本芸術院会員。文化功労者。平成五年七世万歳を襲名し、平成十二年に初世萬となる。公益社団法人日本芸能実演家団体協議会会長、公益社団法人能楽協会顧問。

野村 万歳

◆のむら まんぞう



野村萬の二男。平成十七年一月、本家の名跡九世野村万歳を襲名。一門の組織萬狂言を主宰、国内外で狂言を上演。古典以外にも復曲新作の能や狂言、現代劇にも出演し、また演出も手掛ける。大藏流と和泉流の若手研さんのための「立合狂言会」を立ち上げ、次代の能楽発展にも尽力する。重要無形文化財総合指定。

野村 万之丞

◆のむら まんのじょう



九世万歳の長男。祖父の萬及び父に師事。三才の時「豹狼にて初舞台。平成十四年「伊呂波」の初シテ、以後後子方の役を数多く勤める。平成二十七年「奈須与市語」を披く。

能村 祐丞

◆のむら ゆうじょう



野村萬に師事。平成十二年二世祐丞を襲名。萬狂言北陸支部代表。既に数多くの秘曲・大曲を披く。海外公演にも多数参加。軽妙なシテの中にも氣品を感じさせる芸風を確立。重要無形文化財総合指定。

大藏 彌太郎

◆おくら やたらう せんとら



二十五世大藏彌太郎の長男。祖父二十四世大藏彌右衛門及び父に師事。五才の時「以呂波」にて初舞台。平成十年、宗家に伝わる幼名「千太郎」を襲名。平成二十八年、成人名「彌太郎」を襲名。平成十四年、大藏狂言SHINを結成。狂言の普及、指導に勤め、能楽界の発展に意欲的に取り組む。

大藏 彌右衛門

◆おくら やえもん とらひさ



大藏流二十五世宗家。二十四世宗家故大藏彌右衛門の長男。父に師事。二十五世宗家を継承。平成二十八年「彌右衛門」を襲名。重要無形文化財総合指定保持者。狂言大藏会主宰。

大藏流

和泉流